

独自研修

乳児保育担当保育士等研修開催要綱

【社会的養護処遇改善加算対象研修】

【集合】

ねらい 乳児保育における基礎的知識を習得し、保護者と連携の重要性を再認識する。発達や医療、遊び等の様々な面から、乳児の育ちと保育者の役割について考える。

実施形態	集合研修
研修対象	乳児保育担当の保育所保育士等
研修定員	各100名
日程・会場	①令和3年 8月25日(水)～8月26日(木) 札幌/かでの2.7 4階 大会議室
	②令和3年10月20日(水)～10月21日(木) 札幌/かでの2.7 4階 大会議室
申込期間	①令和3年 5月11日(火)～7月23日(金)
	②令和3年 7月6日(火)～9月3日(金)
受講可否	①令和3年 7月9日(金) 左記までにご連絡いたします ②令和3年 9月10日(金)
研修費用	会員・準会員 5,000円/非会員 10,000円 ※当日の無断欠席は、研修費用を請求いたします

研修内容

	日程・時間	研修科目	研修内容
第1日	9:20～9:50	受付	研修費用の受領/資料配布
	9:50～10:00	開講式	オリエンテーション
	10:00～11:30	講義1 乳児期の発達と愛着形成	乳児期における基本的な発達を確認し、適切な支援のあり方について理解する。 愛着形成のプロセスと、保育者が担う役割について理解する。
	11:30～12:30	昼食/休憩	
	12:30～14:00	講義2 乳児期の病気と予防	保育現場で必要となる発熱疾患の特徴、受診の目安を理解するとともに、感染症及びアレルギー疾患について理解を深める。
	14:00～14:10	休憩	
第2日目	14:10～16:40	講義3 乳児期の遊びと発達の根拠	保育者は、日頃から高い専門性と豊かな経験に基づいた、子どもの発達を支援する保育を実施している。改めて科学的根拠を学び、より実践的な内容について考える。
	9:30～11:30	講義4 乳児期の保護者に寄り添う支援	乳児期の保護者にとって、保育者との信頼関係構築は、情報面や心理面において重要な役割を及ぼす。 「産後クライシス」「ワンオペ育児」等の課題が浮き彫りになる現代、専門職として保護者をどのように支援していくか、再考する。
	11:30	閉講	

※ 本研修は、対象施設 [児童養護施設、母子生活支援施設、児童心理治療施設、乳児院] における処遇改善加算区分 [Ⅱ-ア、Ⅲ-ア、Ⅳ-ア] 該当研修です。詳細については、北海道・札幌市担当所管等あてご確認ください。